

こまえ
公民館
だより

第 51 号

2019 年
(令和元年)
9 / 15

発行 狛江市公民館

■ 西河原公民館

〒201-0013 狛江市元和泉2-35-1
TEL / 03-3480-3201
FAX / 03-3480-3203
E-mail nishikou@city.komae.lg.jp

■ 中央公民館

〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
TEL / 03-3488-4411
FAX / 03-3480-3341
E-mail chukou@city.komae.lg.jp



↑ Web 版はこちら

夏休み



子ども体験教室を開催しました！

紙漉きアート教室

8月21日 紙漉きアート

参加人数：5人 講師：和紙工房こま

＜参加者の声＞

- ◇楽しかったけど、こしがいたくなりました。
- ◇いろんなもようができたりして、とても楽しかったです。
- ◇色をまぜたり、ロープをとったりするのがとくにたのしかったです。
- ◇すこししゃべりすぎたときに、先生がなおしてくれたり、目立たなくしてくれて、やさしいなと思いました。



木工教室

8月24日 本立て・レターラック等の制作

参加人数：11人 講師：クラフトハウス狛江

＜参加者の声＞

- ◇自分で釘を打ったり、木を切ったりすることができるのが楽しかった。
- ◇色をつけたところがおもしろかったです。
- ◇のこぎりで切った後が気持ちよかったです。
- ◇屋根を切ったこと、色ぬり。



電気のしくみを知ろう

◇◇地域連携講座◇◇

実験「電気のしくみ」、工作「くるくる鳥」

8月26日・27日

参加人数：43人

講師：一般財団法人 電力中央研究所 吉光司さん

＜参加者の声＞

- ◇工作がたのしかった。
- ◇工作は小さな部品をつくるのがむずかしかったけれど、回ってうれしかった。
- ◇でんきのしくみをしてうれしかったです。
- ◇でんちがあつかった。
- ◇くるくる鳥がほんとうにまわるとは。びっくりした。
- ◇いろいろじっけんをやったのしかった。



小学生将棋教室

7月25日・26日・27日

参加人数：のべ67人

講師：高野秀行さん（日本将棋連盟六段）、他2人

＜参加者の声＞

- ◇みんな将棋が強くてとても勉強になりました。新しい発見を自分の物にできるように教えてもらいとてもおもしろかったです。
- ◇楽しかった。中学生からの教室も開いてほしい。
- ◇新しい友達ができ嬉しかった。
- ◇強い人と将棋が出来て勉強になった。
- ◇ひとりひとりが色々な形をもっていた。
- ◇先生たちがとても強くてびっくりした。



子ども陶芸教室

作陶 7月28日

釉かけ 8月13日

参加人数 16人

講師 陶芸サークル狛江

＜参加者の声＞

- ◇電動ロクロが楽しかった。
- ◇お皿作りが楽しかった。
- ◇色をつける作業が楽しかった。
- ◇土鈴を焼いてどんな音が出るか、というドキドキ感が楽しかった。
- ◇作品を作るまでの工程の「焼く」以外が大体できたことが良かった。
- ◇自分専用の湯のみが作れてうれしい。
- ◇友達とおそろいのものがつくれてうれしかった。



夏休み 子ども・中高生スペース

公民館の子どもの居場所事業として、お盆期間（8月13日から18日）、9時～21時（小学生は17時まで、中学生は18時まで、高校生は21時まで）に、中央公民館で「夏休み子ども・中高生スペース」を設けました。

①学びのスペース、②遊びのスペース、③体験講座（スクラッチアート体験・クラフト体験・紙細工を飛ばそう）、④夜間スペース、⑤子ども食堂（13・15～17日の昼食）を用意、計497人の利用がありました。

この事業には、ごはんと居場所連絡会・こまえ学習サポートプロジェクト・こまえくぼ1234（狛江市市民活動支援センター）にご協力いただき、こども食堂の食材提供に、NPO法人フードバンク狛江のご協力をいただきました。



グループ紹介

狛江ヨガ教室

体を柔らかく、心身爽快に！

代表：星 けさよさん

◆どんな活動をしているのですか。

先生の指導で、オーソドックスな、ゆったりしたヨガを楽しんでいます。体のすみずみまで気持ちよくなり、長く続けるほど体が柔らかくなります。

◆お仲間は何人ですか。

30歳代から80歳代までの女性6人です。毎週金曜日の午前9時半から西河原公民館でトレーニングしています。

◆活動を見学できますか。

どうぞ会場にいらしてください。また問い合わせは代表にご連絡ください。電話番号は西河原公民館事務室でお聞きください。

倶楽部つむぎ

声に出して輪読を楽しむ

代表：村瀬 祥子さん

■どんな活動をしているのですか。

自分の好きな小説、エッセイ、詩などを持ち寄り、声を出して読み、意見を交換しています。60歳代から80歳代までの小さなグループです。

■楽しそうですね。

色々な作品に出会え、大きな声を出すのでストレス発散になりますよ。皆さんの前で朗読会を開くのが望みです。

■どちらで活動しているのですか。

月に2～3回、日曜日の午後中央公民館や野川地域センターに集まっています。関心がある方は公民館へ代表の電話番号をお問い合わせください。

西河原映画会特別企画

映画と講演会

7月20日（土）に第2回西河原映画会が開催され、『野球部員、演劇の舞台に立つ！』を上映しました。今回は特別企画として、狛江市出身で本作プロデューサーの桑山和之さんをお招きし、講演会を同時開催しました。

多くの方が上映会に参加し、講演会では本作の撮影現場の裏側や桑山さんのこれまでの作品制作に込めた思いなどを伺い、参加者は熱心に耳を傾けていました。



“こまえ市民大学”へ どうぞ!

土曜日の午後2時から中央公民館で開催。
講座名はすべて予定です。詳細は「広報こまえ」や市内の掲示板、HPでお知らせします。

9月28日(土)	2020を目標に掲げたインバウンド ～訪日外国人の動向～ 元日本政府観光局 広瀬 正彦さん
10月12日(土)	小澤幹雄のやわらかクラシック ～兄・小澤征爾と小澤家の家族～ 作家 小澤 幹雄さん
10月30日(水)	課外講座 大谷資料館(栃木県宇都宮市) 他
11月6日(水) 11月13日(水) 12月3日(火)	西河原公民館平日講座 養蚕について学ぶ連続講座

★「宇宙への誘い」満喫★

バスで行く好評の課外講座

市民大学恒例のバスで行く課外講座は5月28日、茨城県つくば市のつくばエキスポセンターと、筑波宇宙センターへ。応募者67人から抽選で当たった39人とスタッフで出発。あいにくトランプ米大統領の帰国と重なり、都心通過に時間を取られたが、無事エキスポセンターへ到着。科学技術を見て、触れて楽しむ施設で、25mのプラネタリウムに投影される38万個の星空の美しさに見とれた。屋外の実物大H-IIロケットなども見学して、すぐ近くの筑波宇宙センターへ移動。

まずは展示館へ。実物大の有人宇宙実験棟「きぼう」などずらりと並んだ人工衛星の模型に目を見張り、宇宙利用の現在を学んだ。最後は、日本最大規模の宇宙航空開発施設の一部をガイド付きで見学。はるか彼方を飛行している「きぼう」の運用管制室、宇宙飛行士の基礎訓練、健康管理のための施設を巡り、そして本物の宇宙服などに触れる体験をし、帰途に着いた。

公運審だより

平成31年度第1回定例会(4月15日)

今期の公運審委員は、今年度と来年度が任期です。新しく委員になった方々の抱負を紹介します。

☆子どもたちが小さい頃には、よく公民館を利用させていたできました。娘が小学生のころ、茶道体験講座に参加し、その後もぜひ続けたいと言っているので、公民館の方に相談したところ「子ども茶道クラブ」を立ち上げることができました。息子も毎年夏休みの小学生将棋教室を楽しみにしておりました。また、70代の両親はいくつかのサークルに入り、頻りに公民館を利用しています。

このように公民館は、様々な年代の人が新しい興味関心、仲間とのつながりを得られる身近な存在です。そんな公民館が、ますます魅力ある場所となるようにがんばります。(土屋陽子)

☆粕江に住んで34年。仕事のかたわら、精神障がい・視覚障がいを中心とした障がい者福祉のボランティア活動をしてきました。公民館では、市民大学・各種セミナーや講座に参加し、こまえ平和フェスタ実行委員会などの活動をしてきました。

市民が気楽に立ち寄れる公民館にするアイデアや企画を考えたい。どうしたら皆が利用しやすいシステムを創れるかを思索したい。各種団体が手を取り合い、協力して魅力ある事業を企画しても良いのではないか。そのために、各種団体の代表者と意見交換をし、実りある公民館

を考えていきたいと思えます。(細谷明美)

☆娘が粕江市民劇団ミュージカル○○○○で活動していたので、私は裏方として参加しておりました。練習のための公民館の予約にも交替で行きました。予約の調整会に行った時、公演が近いと他の団体の方が譲ってくださり心暖まることもございました。また、公民館の中の空間も各階ロビーにテーブルや椅子などが配置され居心地の良さを感じ始めておりました。

公民館での人との繋がり、どのようにこの施設が使われていくのか、もっと知りたいと思えます。力不足ではありますが、頑張っていきます。(宗像政子)

第2回定例会(6月3日)

公民館長から公運審委員長に対し「粕江市立公民館事業の評価のあり方について」諮問が出されました。

現在の事業評価の仕組みは、教育振興計画において自己評価と外部評価が設定されていますが、これは公民館全体に対しての評価です。社会教育法では、運営の状況について評価をし、改善を図るよう努めることと定められており、現在の粕江の公民館でそれにあたるものは毎年度の「活動の記録」です。その内容は、事業の実績や担当者の感想にとどまっています。

これを個々の事業について評価できるものにしていくために、検討が必要との諮問です。評価を行うには指標がないと評価ができないので、指標と評価自体のあり方について審議をしていきます。